

社会資本総合整備計画

いわでやま ちく
岩出山地区

みやぎけん おおさきし
宮城県 大崎市

平成23年3月

都市再生整備計画

いわでやま ちく
岩出山地区

みやぎけん おおさきし
宮城県 大崎市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	宮城県	市町村名	大崎市	地区名	岩出山地区	面積	121.6 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 26 年度				

目標

大目標として「安心して生活できる社会基盤の形成と地区内の交通環境向上を目指し、利便性が高く魅力あるまちづくり。」とします。

- 目標1 安全で安心して移動できる歩行空間の形成
- 目標2 利便性の高い歩行者ネットワークの形成
- 目標3 福祉・交流拠点へのアクセス機能の強化

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- ・当市は旧古川市、旧松山町、旧三本木町、旧鹿島台町、旧岩出山町、旧鳴子町、旧田尻町の1市6町が合併し、平成18年3月31日に誕生した。
- ・本地区は、北側の江合川、西側の城山公園や軽沢川が位置する丘陵地に囲まれている。地区内には内川が流れており、内川沿いは『学問の道』として周遊・散策を促す整備が行われている。
- ・地区北部には大崎市本庁機能として教育部局を配した岩出山庁舎や、文化施設等が集積していることに加え、近年、全ての人々が気楽に利用できるサービスの拠点として、幼児保育センター、特別養護老人ホームやケアハウス、地域福祉センター等、保健・医療・福祉機能を集約させた『あったか村』を建設し、地域支援社会の創造に取り組んでいる。
- ・地区内には、街路照明や防犯照明等が整備されているが、一部路線において照明灯の未設置区間がある。
- ・『有備館』や平成12年度に閉館された『感覚ミュージアム』は観光名所であるとともに、コミュニティの核として多くの人々に利用されている。
- ・市街地内は戦国時代に整備された城下町特有の狹隘で不規則な道路網形態が現在に引き継がれている。幹線道路の一部で拡幅整備が行われており、交通の円滑化が図られているが機能的な道路網には至っていない。
- ・地区内の道路の一部には蓋の無い深い側溝があり転落防止柵なども無く車両及び歩行者の安全な交通が確保されていない状況も見られる。
- ・地区内にアクセスする公共交通機関として、JR陸羽東線の岩出山駅と有備館駅があるが、ともに乗降客数は減少傾向にある。有備館駅は平成8年度に開業され、平成14年度には『住民協働館』と名付けられた公共施設を含む駅舎が整備された。
- ・地区内には、バス路線として大崎岩出山総合支所と境田を結ぶ『真山線』、岩出山総合支所を起終点とする『西大崎線』、「一栗線」が運行されており月曜日から土曜日まで1日の運行本数は11本である。ただし、日曜、祭日は運休日となっている。
- ・区域内には市営バスが運行されており、あったか村内にもバス停が設置されている。

課題

【安全で安心して移動できる歩行空間の形成】

- ・岩出山地区は大崎市の中でも高齢化率が高く今後さらに高齢者の増加が予想される地区であるが、地区の現状は狹隘な道路や道路沿いの蓋が設置できない危険な水路や電柱が支障となり特に高齢な歩行者や幼児にとって危険な道路となっています。これらを改善し誰もが安心して安全に通行出来る道路空間の整備が必要となっています。
- ・夜間における高齢者の歩行は特に危険となります。また、防犯上からも照明灯の設置は有効であり、地区の住民が安心・安全に通行できるよう街路照明の未設置区間や道路交差点に照明灯の設置が必要となっています。

【歩行者空間創出とネットワークの形成】

- ・城下町時代に整備された狹隘で不規則な道路形態が現在に引き継がれており、歩行者が車を避けながら通行する安全性が低い道路状況である。そのため、安全な歩行空間の確保が不可欠となっています。
- ・地区内には内川沿いの学問の道や通町南町通りなどがあるが、これらが有機的に結ばれていないため、歩行者ネットワークが形成されていない。あったか村と市街地を結ぶ歩行者ネットワークの形成により、安全な歩行者空間の創出が求められています。

【福祉拠点へのアクセス機能の強化】

- ・『あったか村(保健福祉施設群)』の整備に伴い、市道あったか村線が暫定供用し、通丁南町通り線に接続しているが、施設までの連絡道路が狹隘である。
- ・あったか村では、病床の不足及び施設の著しい老朽化に伴い、「大崎市民病院岩出山分院」を移転し施設群内に建設を予定しており平成23年度に開院の予定である。そのため、病院へのアクセス利便性を高めるためアクセス幹線道路の整備が急務である。
- ・アクセス幹線道路の整備や平成23年度の岩出山分院の開院に伴い岩出山市街地とあったか村各施設を結ぶ公共交通網の整備が必要不可欠となる。

将来ビジョン

- ・当地区は岩出山町第4次長期総合計画において、個性ある豊かな地域文化を生かした居住環境の向上と魅力ある商店街づくり、滞在型観光として周遊できる環境整備を推進することとしている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
安全安心な歩行空間に対する満足度	%	岩出山地区住民が日常生活の中で行う「移動」に対して安心感や安全性の度合いや歩行者ネットワークについて満足度で評価する。満足度調査はアンケートにより実施のうえ事業実施前後を比較する。調査対象者は、高齢者の割合を多くし高齢者にとっての安全安心感の向上についても確認する。	道路を通行する上での安全性や安心感の向上は、安全安心な道路空間の形成が行われている事を示す。また、高齢者の満足度向上は高齢化社会に対応した社会基盤整備が進んだ事を示す。また、歩行空間の利用のしやすさや利便性の向上は、歩行者ネットワークの形成行われたことを示す。	6.3	H22	12.4	H26
あったか村へのアクセス時間	分	岩出山総合支所前から地域の福祉拠点であるあったか村までのアクセス時間 ・市営バス利用者のアクセス時間	岩出山総合支所前からあったか村までは直接バスが連絡する幹線道路がなく、県道を迂回している。幹線道路が整備され市街地の循環が可能となることは、福祉拠点の機能向上と快適な交通環境を示し、バス時間の短縮は高齢者や子供などの交通弱者の利便性の向上を表す。	7	H22	3	H26
あったか村線交通量	人/12h	あったか村線の12時間断面交通量とし歩行者交通量とする。	あったか村線の歩行者交通量の増加は、歩行環境の改善や歩行者ネットワークの創出を示すものである。	61	H22	79	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 安全で安心して移動できる歩行空間の形成</p> <p>①安全に移動できる歩行空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓋の無い道路側溝を改修し歩行者及び車両が安全に通行できる道路空間整備 ・歩車道が分離された幹線道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ●(都)岩出山中央線街路整備事業(基幹事業/街路事業) ●市道仲浦小路線①(基幹事業/道路事業) ●市道川原小路線(基幹事業/道路事業) ●市道岩出山二の構1号線(基幹事業/道路事業) ●市道岩出山二の構2号線(基幹事業/道路事業)
<p>②安心して移動できる歩行空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間においても歩行者が安心して歩けるよう照明施設を設置する。 ・住民への情報提供を目的とした掲示板の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民病院岩出山分院建設事業(関連事業/市) ●公共下水道整備事業(関連事業/市) ●(都)通丁南町通り線整備事業(関連事業/宮城県) ●照明灯整備(基幹事業/高質空間形成事業) ●掲示板整備(提案事業/地域創造支援事業)
<p>整備方針2 歩行者空間の創出とネットワークの形成</p> <p>①快適な歩行空間の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者空間を明確にし安全で歩行者にやさしい歩行空間を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市道仲浦小路線①(基幹事業/道路事業) ●市道仲浦小路線②(基幹事業/道路事業) ●市道川原小路線(基幹事業/道路事業) ●市道岩出山二の構1号線(基幹事業/道路事業) ●市道岩出山二の構2号線(基幹事業/道路事業)
<p>②利便性の高い歩行ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路新設によりあったか村への迂回感を解消。 ・誰もが目的地へ迷わず最短で歩けるよう施設案内板を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●案内板設置事業(基幹事業/高質空間形成事業)
<p>整備方針3 福祉拠点へのアクセス機能の強化</p> <p>①アクセス幹線道路の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内外からの『あったか村』への交通アクセスを円滑にするために、地区内幹線道路を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●(都)岩出山中央線街路整備事業(基幹事業/街路事業)
<p>②福祉拠点への公共交通アクセス性の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『あったか村』の保健福祉機能を強化し、地域の生活環境を向上させるため、市民病院を整備する。 ・市営バスとの連携によりあったか村各施設へのアクセス性を向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民病院岩出山分院建設事業(関連事業/市) ●バス停設置事業(提案事業/地域創造支援事業) ●まちづくり事後評価検討事業(提案事業/事業活用調査)

その他

岩出山地域は、伊達政宗公が仙台青葉城へ移る前の12年間、血気盛んな青年時代を過ごした城下町であり、「岩出山城址(城山公園)」や、周辺には伊達家霊廟や寺社が数多く残されている。このような歴史背景から本地域は、現存する日本最古の学問所である有備館を各とした、「学問のまちづくり」を基本として、地域の特色を生かした個性ある街づくりを展開している。また、南町通りでは、組合を設立し年2回のお祭りを開催しており、中心市街地の活性化に向けた取り組みが行われている。

都市再生整備計画の区域

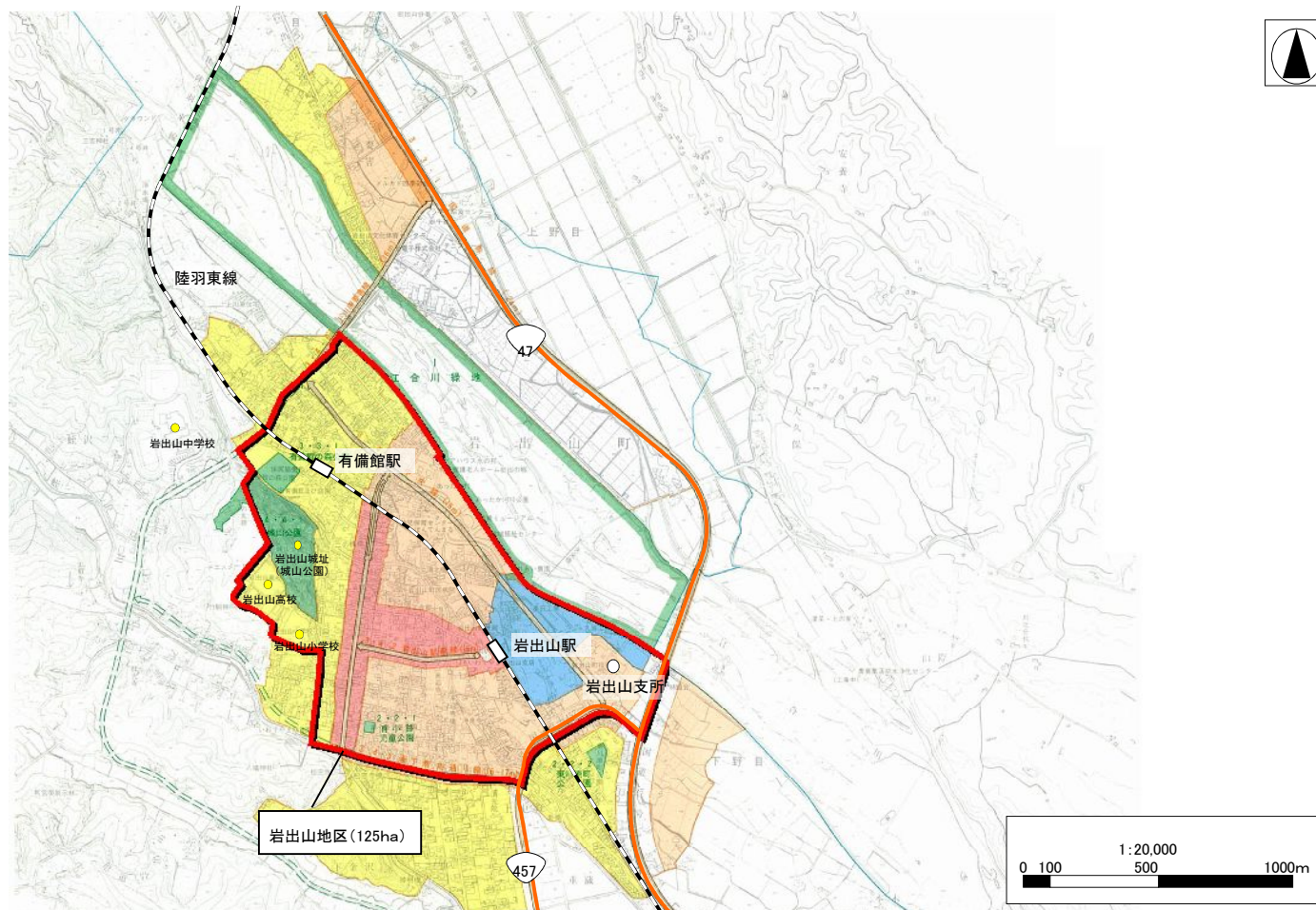
岩出山地区(宮城県大崎市)

面積

121.6 ha

区域

大崎市岩出山上川原町、



岩出山地区(宮城県大崎市) 整備方針概要図

目標	安心して生活できる社会基盤の形成と地区内の交通環境向上を目指し、利便性が高く魅力あるまちづくりを目指します。	代表的な指標	安全安心な歩行空間に対する満足度 (%)	6.3	(H22年度) →	12.4	(H26年度)
			あったか村へのアクセス時間 (分)	7	(H22年度) →	3	(H26年度)
			あったか村線交通量 (人/12h)	61	(H22年度) →	79	(H26年度)

